

2023年2月9日(木) 19:30~21:00

令和4年度

第6回 セミナー 学級の困った！を一人で抱え込まないで

議事録作成 玉置ゼミ7期生 下野 綾巳

【今回の困りごと】

▼自己選択の問題演習 (小学6年生)

学習内容が1月の下旬で終わり、6年間のまとめに取り組んでいる。

毎日問題に取り組むため、飽きてしまう等、子どもから前向きな姿勢が感じられない。

6年生のこの時期に限らず、単元の終わりや学期末の復習にどう取り組むと良いか。

▼ICTを使った作文指導 (小学5年生)

高学年になるにつれて、自分の考えを述べたり、調べて文章に書くことが増える。

授業内での進度差が大きく困っている。

▼1年生の担任の極意 (未来形)

来年度1年生で希望を出したが、1年生の学級経営で気をつけることは。

▼機嫌の良い先生であり続けるには (小学3年生)

月曜日に、「先生、今日機嫌が良いね」と言われた。

機嫌が良い先生であり続けるための感情のコントロールの仕方はあるか。

▼目立つ学力差への対応 (小学1年生)

生活面や学力面で差が大きく開いている。

周りが成長している文、目立ってきているように感じる。底上げをしたい。

▼家庭学習の充実 (学校全体)

来年度から学校全体で宿題を撤廃し、家庭で自分の必要な学びをすることに決まった。

家庭学習の方法で何か良い方法があれば教えて欲しい。

【内容】

▼自己選択の問題演習 (小学6年生)

学習内容が1月の下旬で終わり、6年間のまとめに取り組んでいる。

毎日問題に取り組むため、飽きてしまう等、子どもから前向きな姿勢が感じられない。

6年生のこの時期に限らず、単元の終わりや学期末の復習にどう取り組むと良いか。

《他の先生方からのご質問》

Q. 1番困っていることは何か。

A. 問題の解き方を工夫していきたい。

Q. 明確な終わりはある？

A. 1日1つの部屋／終わらなかった宿題／みんなで解く時間を次の日に行う

Q. 自分が子どもだったら黙々とやる？

A. やりたくないけど、やらなきゃいけないならやる

《他の先生方のご意見》

- 小6の単元は、他の単元とは違う

普通の単元は、テストがある → できるようになりたい！のモチベーションがある
いかに、目的意識（必要意識）を持たせるか

例) 中学の問題を提示



小学校の知識は、中学生になっても使える



役立つ＝モチベーションに繋がる

- 教科書を教えるのではなく、教科書で教える

例) 子どもに面白いと思わせるプリントの作成

- 小学校で習ったことに留めない問題演習

例) 類題作成／中学受験の問題使用／公式の用い方

《和田先生のご意見》

●問題演習の時間＝問題を**分析・分類**する時間

- ・どれが難しい？ 自分が先生ならこの問題に何点つける？
 - ・子どもが作る側へとなり、振り返りが自然とできる
 - ・問題を解かないと分析・分類は出来ない

例題) 次の①～③の最小公倍数と最大公約数を見つけてみましょう。

① 4, 12 ② 14, 21 ③ 25, 30

〈教師の言葉がけ〉

- ◎自分にとって、1番自信のある問題／難しい問題を選ぼう。
- ◎自分が間違えそうな問題から解いてみよう。
- ◎よく似た問題をつくってみよう。
- ◎立ち歩いて良いから、全員が分かるまで教え合ひましょう。

《玉置先生のご意見》

●主体性を生むためには、『自己選択』

▼ICTを使った作文指導 (小学5年生)

高学年になるにつれて、自分の考えを述べたり、調べて文章に書くことが増える。
授業内での進捗差が大きく困っている。

- ・下級生に自分が良いと感じた本の紹介文を書く単元
 - ・できる子は、2時間で終わる
 - ・できない子は、読めない、何を書いてよいか分からない状態
 - ・自由課題（自分が1から作る課題）の学力差を感じている。＝理解力／文章力の差

《他の先生方からのご質問》

Q. 枠（書く分量）は、決まっていますか？

A. どんな本なのか／おすすめポイント ①／おすすめポイント ② 程度の分量
配置等は、特に指定はないが求めていることではない。

Q. 本の紹介にこだわる理由は？

A. 教科書の題材が図書館活用をねらいとした「本」だから。
本質は、本の紹介が目的ではなく、「相手に伝わる文章」を書くこと。

Q. 早く出来た子はどうしている？

A. 早く出来た子の作品は、配膳台に並べてオープンカンニングできる状態にしてある。

Q. ゴールは明示されているか？

A. 下級生に自分たちが作成したパンフレットを渡すために、担当を分けて作業を行う。

《他の先生方のご意見》

● 1・2年生に欲しいもの／聞きたいことを調査しておく

→切実感が出てモチベーションに繋がる

● 2枚目を作成する

→**予め評価項目（ループリック）**を作成して子どもに明示しておくことで

高位の子どもは、評価規準にこだわり、2枚目3枚目で納得のいくものを追求できる

=個の深い学び

● ICT を用いた**オープンカンニング**

→**表現のない子は、表現を獲得することから**始まる

子ども同士で学び合えるオープンカンニングが有効

● ICT を用いて友達同士で**推敲**し合う

→**推敲：ロイロノートの生徒間共有を活用・誰のでも読みたくなるのが ICT**

読む力 + （大事なことを）**見抜く力** が身につく

推敲前と後は『本場用提出箱』を作成する等、成長が見える化できるように残す

《和田先生のご意見》

●従来の作文指導は、一人ひとりの指導に時間を取られ、追いきれないという難点があった。

今は、**友達から「自分が良くなるためのアドバイス」を貰える環境**がある

これだけで、子どもの抵抗感は少ないと言える。

▼Chat GPT

Open AI が 2022 年に発表した対話型の AI 『Chat GPT』

文章力は概念が変わっていく

▼1年生の担任の極意 (未来形)

来年度1年生で希望を出したが、1年生の学級経営で気をつけることは。

《他の先生方からのご質問》

Q. なぜ1年生を希望したのか

A. 若いうちに経験をしたい。(男性教諭は低学年を持つ機会が減る)

縦割り活動の際、1年生と関わるが多かった。

今後の縦割り活動を充実させるためにも、1年生の担任を経験したかった。

《1年生の担任経験のある先生から》

1年生の担任で1番苦しいのは、4月・5月

流れができるまで苦しい

《和田先生のご意見》

- 4月・5月で1年分の労力を使うが、学び方が定着すると安定する学年
- 1年生は何も出来ない訳ではない
 - 卒業式では40分座ってられた
 - ・幼稚園、保育園、こども園では、年長さんのお兄さんお姉さんだったことを念頭に
- 自分の席があること が今までと違う
 - 「困ったときは、先生が行くから教えてね」 = 出前授業
 - これまでは、困ったら先生の側に聞きに行くものだった
- 1年生の出来ること・これから出来るようになること

出来ること	これから出来るようになること
給食 (配膳)	
掃除	整理整頓
座る	じーっと座る
並ぶ	

→失敗しても良いから任せてみることで、子どもは頑張る

- 1年生は、出来ることが増えていく学年
 - 出来るようになったことが出来なくなる学年ではない

▼機嫌の良い先生であり続けるには (小学3年生)

月曜日に、「先生、今日機嫌が良いね」と言われた。

機嫌が良い先生であり続けるための感情のコントロールの仕方はあるか。

《他の先生方のご意見》

- いい学級経営＝自分がニコニコしていること

↳パワーが要る＝受け入れるキャパを用意する必要がある



▼目立つ学力差への対応 (小学1年生)

生活面や学力面で差が大きく開いている。

周りが成長している文、目立ってきているように感じる。底上げをしたい。

《他の先生方からのご質問》

Q. そういった子は、早生まれなのか？

A. 1月・2月生まれ

Q. 友達になりたい子はいるのか？

A. いない／勉強をしたくない／保護者も協力的でない

Q. 宿題の量は変更しているのか？

A. 「ここまででいいよ」と伝えている

《他の先生方のご意見》

- 塾に行かせて満足な保護者がいる

→教師側の気持ちは、「少し一緒に子どもを見てくれるだけで良いのにな」といった思い

- 「ここまででいいよ」≠「どこまで出来るの？」

→子どもの受け取り方は、違う

自分自身が決めた宿題に取り組む力

「3行だけでいいよ」≠「3行も読めるの!?! 凄いね、3行読んでおいで」

《和田先生のご意見》

- 学校側は、宿題を期待するのではなく、、、
 - ・字が読めて
 - ・足し算／引き算が出来る ことを願う
- 字を読む郵便係／給食係
 - 家庭の経験を学校で＝**係で活躍できる場所をつくる**

▼家庭学習の充実 (学校全体)

来年度から学校全体で宿題を撤廃し、家庭で自分の必要な学びをすることに決まった。
家庭学習の方法で何か良い方法があれば教えて欲しい。

《他の先生方のご意見》

- 宿題の撤廃は、どのような視点から決定したのか
 - *世の中の情勢なのか
 - *教員の負担削減なのか
 - *個に応じた学びの具体化なのか

】 **方針を示さないと家庭に丸投げ**
- 自由勉強帳＝自主学習
 - 例) テスト○日と示す → 学習の自己調整力を高める
 - 6時間目に自主学習でやることを決める → 翌日の1時間目にフィードバック
- 宿題が無くなるのが予想がつかない
 - 宿題がないのに、どのように自分の学びを得ていくのだろうか

《和田先生のご意見》

- 宿題無しは、理想
 - 宿題は均一だから (自分に合ったものを選ぶ)
- 自主的に自分で学びを積み重ねる
 - ↑↓
 - 先生が個に応じる時間が増える